

写真①: 「YR夏ゆたか」は尻詰まり・肥大性に優れる



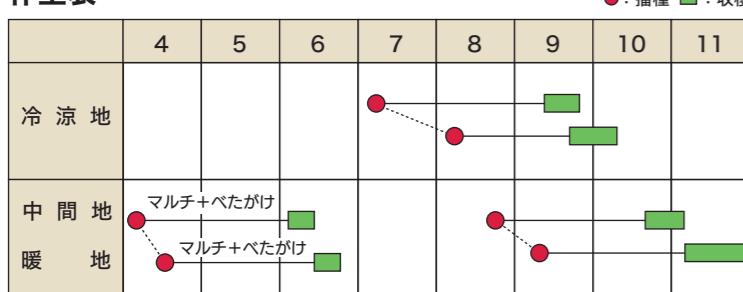
写真②: 「YR夏ゆたか」は肌の障害が少ない



写真③: 赤芯症、黒芯症の例



作型表



栽培ポイント

- 尻詰まりが良く、肥大性に優れます。(写真①)
- 肌はつやがあり、肌の障害の発生が少ないです。(写真②)
- 生理障害(赤芯症、黒芯症、横しま症など)の発生が少ないです。(写真③)

体で与えていくのが望ましいです。草勢は中程度でおとなしい品種ではないため、特に前作の残肥が多くある場合は施肥量に注意が必要です。微量元素資材には、生理障害の基礎対策としてホウ素が含有されているものを使用します。

また、ダイコンにおいては作型・品種を問わず、圃場づくりや土壤改善を行っていくことが重要です。作土が深く、排水の良い圃場が望まし

いため、十分な耕うんや深耕を行います。そして前作の残渣やたい肥などの有機物が未熟なまま残らないよう、腐熟期間を十分に設けましょう。

作型表の適期内での播種を推奨しています。無理な早まき、遅まきをしてしまうと思わぬ病害の発生や、根の伸長・肥大の停滞などが助長されますのでご注意ください。

病害虫の防除

黒斑細菌病や軟腐病などの細菌病については傷口から感染するため、雨・風が強い時にはできるだけ早いタイミングで登録農薬による散布を行います。また、白サビ病およびワッカ症については条件によって発生する場合があるため予防的に防除を行います。



Pick up!

品種紹介

カネコ種苗(株)
ぐにさだ育種農場
壺井 達矢

はじめに

近年の夏は非常に高温になつており、残暑も長く厳しいものになっています。そのためダイコン産地では問題となっています。特に高温・乾燥で発生が多くなる『赤芯症』・『黒芯症』は年々発生リスクが高まつており、発生時の判別のしにくさと相まって重要障害に数えられています。当社ではこうした高温期における作型においての安定生産の一助となるべく、今回「YR夏ゆたか」を紹介させていただきます。高温での生理障害が出にくく、中間地・暖地の早まき、早どりに適した肥大性を持つ品種です。何卒よろしくお願ひいたします。

品種特性

● 中間地・暖地の晩夏～秋の早まきに向く青首ダイコンです。

● 草姿は中間型で、草勢は中程度になります。

● 根長が長くなりすぎず、曲がりにくいです。

● 萎黄病、モザイクウイルスに耐病性があります。

● 青首の色は鮮やかで、肉色は白いです。

YR夏ゆたか